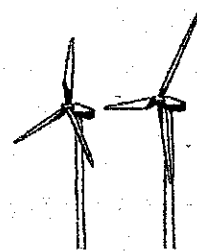


このままでいいの？ 再生可能エネルギーの進め方 パート4 —風力発電、バイオマス発電

地球温暖化対策として国が強力に推進している再生可能エネルギーですが、開発の実態は果たしてエコでグリーンなのでしょうか？風車の回転で発生する（超）低周波音は減衰しづらく遠くまで伝わり、周辺の居住者や就労者等に健康影響をもたらす可能性が極めて高いやっかいな代物です。殆ど知られていない（超）低周波音の性質、今後開発の加速化が予想される超巨大風車群からなる洋上風力発電計画や、海外の風車被害報告を学びます。8月・9月の講座では、安定した電気が得られると急増しているバイオマス発電が、実はひどい自然破壊をもたらしている実態を学びます。

- 4月23日（火）開講 全6回 月1回火曜 18:45～20:45
- 会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)
- 受講料 一般 6,000円 会員 4,800円 25歳以下 2,400円
(単発 一般 1,500円 会員 1,000円 25歳以下 500円)



4月23日（火）第1回

"毒の音"を知る

- 今野 滋 (こんの しげる)
東海大学非常勤講師 (物理)

人の神経をかき乱す低い音の常識外れな性質について、講師の被害体験も交えて、わかりやすく学びます。国の基準が国民を守ってくれないので自衛のための初歩を学びます。

7月23日（火）第4回

稚内市における風車の健康影響

- 佐々木 邦夫 (ささき くにお)
風力発電の真実を知る会

稚内市の風車に近接した住宅地でヒアリングをし、大型小型を問わず何らかの健康影響が疑われる結果が得られました。また、小型風車によるご本人のひどい被害状況もお話いただきます。

5月28日（火）第2回

大丈夫？ 洋上風力発電

—あっと驚くヨーロッパとの比較

- 安田 秀子 (やすだ ひでこ)

石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表

石狩湾新港をはじめ全国で洋上風力発電が計画されていますが、皆、計画地が海岸から近すぎます。健康や景観に配慮した先進地ヨーロッパと比較し、その違いについて学びます。

8月27日（火）第5回

持続不可能な大型木質バイオマス発電

- 小泉 雅弘 (こいずみ まさひろ)
さっぽろ自由学校「遊」事務局長

燃料を燃やして電気をつくる木質バイオマス発電は、安定供給可能な再生可能エネルギーと謳われています。しかし、それは本当に「再生可能」なのでしょうか？木質バイオマス発電の実態とその問題点について考えます。

6月25日（火）第3回

風力発電をめぐる海外の動き

- 加藤 やす子 (かとう やすこ)

環境ジャーナリスト、いのち環境ネットワーク代表

風力発電施設周辺では、どのような被害が報告されてきたのでしょうか。ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリアなど海外の被害とその対策や規制を紹介していただきます。

9月24日（火）第6回

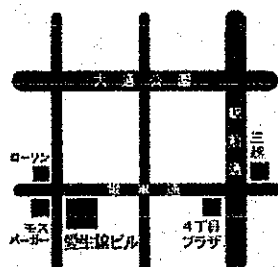
誰のための自然エネルギー

—バイオマス発電とインドネシアの熱帯林

- 浦野 真理子 (うらの まりこ)

北星学園大学経済学部教授

バイオマス発電は電力買い取り価格が高く設定されたため FIT 認定への申請が急増し、2017年には燃料の9割がパーム油、アブラヤシ殻(PKS)、木質ペレットなどの輸入バイオマスとなっています。インドネシアではパーム油の生産に伴い森林破壊や土地紛争などが起きています。ボルネオ島村落の状況から、バイオマス発電の問題点を考えます。



【お申込・お問合せ先】

NPO法人 さっぽろ自由学校「遊」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル5F 501
TEL 011-252-6752 FAX 011-252-6751 syu@sapporoyu.org

国連NGO/NPO法人
子どもの権利条約総合研究所北海道事務所主催
名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター共催
北広島市共催 札幌市後援
札幌市子どもの権利条例市民会議(略称こどけん)協力

第9回 子どもの権利研究会

子どもの権利条約 国連採択30年 日本批准25年 子どもの権利の推進 これまでとこれから

—子どもの声を聴き取るために—

日時 2019(令和元)年8月31日(土)
13時30分～17時(受付13時～)

会場 北広島市エルフィンビル2階会議室(北広島市栄町1丁目5番地2)
※JR北広島駅西口より徒歩5分弱

参加料 資料代500円



【主な内容】

今年は、子どもの権利条約の国連採択30年、日本批准25年を経過した記念すべき年です。
そのような流れの中で、北海道でもいくつかの子どもの権利条例が制定され、
北広島市でも子どもの権利条例が制定されて7年が経過しました。
子どもの権利条約にもとづく子どもの意見表明権や子ども参加、また子どもの最善の利益を保障するためにも
子どもの権利条例が果たした役割をあらためて検証する機会にしたいと思ひます。
子どもの権利条約がめざした子どもを単に保護の対象にとどめることなく、
子どもを権利の主体とする子ども親にもとづく子どもの権利の実効性がどのように推進されたでしょうか。
第9回の子どもの権利研究会は北広島市における子どもの権利条例の実施に関わる現状と課題を中心に
検討したいと思ひます。今回の研究会のひとつのキーワードとして、「子どもの声を聴き取ること」をめざして、
子どもの権利の推進に関わる諸施策について、広く意見交換をしたいと思ひます。

第Ⅰ部

報告◎「北広島における子どもの権利条例の普及推進と子どもの参加」

仲野 邦廣(北広島市子育て支援部長)

コメント◎全国の子どもの権利条例と北広島市

荒牧 重人(子どもの権利条約総合研究所所長)



第Ⅱ部

報告◎「北広島市子どもの権利救済委員会の活動 その現状と課題」

内田 信也(弁護士、北広島市子どもの権利救済委員)

特別報告◎「子どもの心に寄り添った相談の実践—児童会館の広報活動やライン相談など—」

札幌市子どもの権利救済機関(子どもアシストセンター) 近藤 里沙(相談員)

飯村 伸孝(相談員)

コーディネーター/松倉 聡史(子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長、名寄市立大学教授)

【問い合わせ】 松倉 聡史(名寄市立大学保健福祉学部)

TEL/01654-2-4194(内線1307) 研究室直通/01654-2-4199-1307 E-mail matukura@nayoro.ac.jp

塚本 智宏(東海大学札幌キャンパス)

TEL/011-571-5111(内線2418) E-mail/tukamoto@tsc.u-tokai.ac.jp

ぶりす教育を考える集い

親が笑顔で

～障がいのある子どもをめぐって～

『支えの信念』

～A Credo for Support (Japanese version)～

社会が彼らの叫びに対し、公平と尊重ではなく救済と慈悲で応じてしまうという危険。だから今、あなたに届けます・・・

私の障害を問題としてみないでください。障害は私の一部です。

私の行動を矯正しようとしなくてください。静かに、聴いて下さい。

私の声に耳を傾け、私の「もがき」を簡単に解決できるかのように軽く受け流したりしない、そんな人でいてください。

理論や方法論に、私を当てはめようとしなくて下さい。ただ、一緒にいてください。そしてぶつかり合った時には、互いに自らを省みる機会としましょう。

私をコントロールしようとしなくてください。人として自分らしく生きる権利が、私にはあるのです。あなたが不服従や挑戦と呼ぶ行動は、自分の人生を自分でコントロールできる私にとっての唯一の方法なのかもしれません。

無理に私の友達になろうとしなくて下さい。そんな同情はいりません。

私の事をよく知ろうとして下さい。そしてらいつか、友達になれるかを知れないね。

第三杯生きようとする事は、特に歓迎されるようなものではないです。私を尊重してください。無理に

私に近づいて来ないでください。私に近づいて来ないでください。

※画面の関係で略しています。全文のネット等でご覧いただけます。

作/ノーマン・クンツ、エマ・ヴァシーダー=クリフト

【日時】9/1(日)14時～16時30分

【場所】Bliss Tree 札幌市清田区北野2条2丁目11-17

【内容】

第1部「え？あなた生んだお母さん？」影浦 美由紀さん

第2部「予想しなかった人生」ハルコさん

第3部「感じる絵本～絵本セラピー@体験～」しおちゃん

【対象】中学生以上

【定員】20名

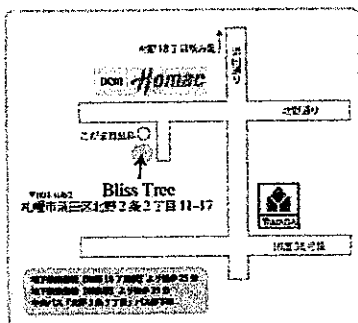
【会費】2,000円(学生さん無料)

【お申込み・お問い合わせ】

sowaka0358shio@ybb.ne.jp 090(8895)4538

(主催)笑華尊塾 シオヤタカハル

晴子です。五月晴れが名前の由来です。絵、手芸、人前で話す事が好きです。下の娘(19)が脳障害です。めんこくて仕方ありません。予想もしなかった人生を歩んでいます。



臨床検査技師です。三女一男の母です。長男は子宮破裂で生まれたため、肢体不自由ですが元気いっぱい。母は、PTAや町内会の参加で、「いざというときに、一緒に逃げよう」と言える繋がりを目指しています！



影浦 美由紀さん



ハルコさん



プロデュース
しおちゃん



ひとり親家庭 サポーター養成講座



シングルマザー、シングルファーザーと子どもたちを取り巻く現実には複雑で困難です。ひとり親をサポートするために知っておかねばならないことも広範囲にわたります。仕事・生活・離婚前後・子育て・教育・社会資源…総合的な支援を行うために、最も現場をよく知る講師陣による養成講座です。当事者の体験を聞き、本当に必要な支援を知り、スキルも身につけましょう。ぜひこの機会を逃さずご参加ください。

日時	時間	内容	講師
	09:30(開場 9:15)	オリエンテーション	
第1回 2019 10/05 (土) 会場 エルプラザ 4階 中研修室	10:00~12:00	ひとり親家庭の現状と支援 福祉施策と相談対応	赤石 千衣子 NPO 法人しんぐるまざあず・ふおーらむ 理事長
	13:00~14:30	日本のひとり親に関する法律手続き 離婚時の手続き、財産分与、養育費など 奨学金訴訟について	西 博和 弁護士 北海道学費と奨学金を考える会 (インクル)
	14:40~16:30	医療現場から見た子どもたちと親の支援	藤根 美穂 小児科医
	16:20~16:50	ひとり親が語る「わたしたちの体験」	ひとり親当事者
	17:30~	懇親会	自由参加(事前申し込み)
第2回 2019 10/06 (日) 会場 自治労会館 4階 第4会議室	09:30~10:50 (会場 09:15)	DV 被害者への支援 DV やトラウマからの回復支援	まつもと ゆかり DV心のケア holoholo 代表
	11:00~12:00	こども食堂研究と一時保護の現場から 見える子どもたち	二本松 一 将 児童相談所一時保護所夜間指導員
	13:00~14:30	ひとり親家庭の支援 公的支援・就労支援、ライフプラン、教育資	平井 照枝 しんぐるまざあず・ふおーらむ北海道代表
	14:40~16:00	相談事例検討 グループワーク	しんぐるまざあず・ふおーらむ北海道 スタッフ
	16:00~16:30	ふりかえり	
	16:30~16:45	参加者交流 名刺交換等	自由参加

会場：1日目-札幌エルプラザ

札幌市男女共同参画センター4階中研修室
(札幌市北区北8西3 JR札幌駅北口地下歩道12番出口直結)

2日目：北海道自治労会館4階第4会議室
(札幌市北区北6条西7丁目)

定員：40名(定員になり次第締切ります)

参加費：1日のみ 4,000円
2日間通し 7,000円

☆受講申込み後、お振り込み下さい



申込：申込フォームから ⇒

メール event@smf-hokkaidou.com

または FAX 0134-33-7345

TEL080-3291-3059(電話月~金10時から17時)

締切り：2019年9月30日(月)

(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

対象：ひとり親家庭支援に関わる行政職員
ケースワーカー・民生委員・児童委員・調停委員
困窮者支援員・教職員・保育士・その他関心のある方

振込先：北洋銀行小樽中央支店
口座番号 普4085543

ゆうちょ銀行 記号19060
番号54143431

口座名：しんぐるまざあず・ふおーらむ北海道

主催 しんぐるまざあず・ふおーらむ北海道
後援 北海道・札幌市(申請中)

北海道新聞社会福祉振興基金福祉活動助成事業

公立夜間中学について

～自主夜間中学の経験に基づく調査・研究～

札幌遠友塾自主夜間中学代表 遠 藤 知恵子

事務連絡
令和2年1月吉日

各位

石狩市環境市民部環境政策課
課長 飛鳥謙一

いしかり J-VER 普及啓発事業

「Ishikari city Presents Nature Session 2020」の開催について（ご案内）

新春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、「いしかり J-VER(オフセット・クレジット)」の普及啓発事業としまして、下記のとおりイベントを開催する運びとなりました。

このイベントでは、いしかり J-VER 普及のために制作した映像作品の上映会や、トークセッションなど、皆様にとって「環境」や「自然」について考えるきっかけとなるようなプログラムとなっております。

時節柄ご多用のところ恐縮でございますが、ご臨席賜れば幸甚でございます。

記

1. 開催日時 令和2年1月30日(木) 19時00分～21時00分
※開場は18時30分
2. 場 所 札幌市民交流プラザ3F クリエイティブスタジオ
(札幌市中央区北1条西1丁目)
3. プログラム 19時00分～19時15分 映像作品上映会
19時15分～20時00分 トークセッション
20時10分～21時00分 レセプション
※その他、詳細は同封のチラシをご覧ください。
4. その他 参加無料／申込不要 ※直接会場へお越しください。

問合せ先

〒061-3292

石狩市花川北6条1丁目30番地2

石狩市 環境市民部 環境政策課 担当 加藤・中村

TEL 0133-72-3698 (直通)

FAX 0133-75-2275

Eメール k-seisaku@city.ishikari.hokkaido.jp

反貧困ネット北海道主催
第1回地方議会議員向け研修会

「生活保護基準の改定をめぐる動向と課題」

2020年2月24日（月）13:15～15:45
かでの2・7 510会議室

司会：川村雅則（北海学園大学教授）

主催者挨拶

松本伊智朗（北海道大学教授）

講演：生活保護基準の改定をめぐる動向と課題

岩永理恵さん（日本女子大学人間社会学部社会福祉学科准教授）

質疑応答

閉会挨拶

山内太郎（札幌国際大学准教授）

岩永理恵さんのプロフィール

- ・ 日本学術会議 連携会員（2017年10月～）。雑誌「貧困研究」編集委員。厚生労働省「生活保護基準の新たな検証手法の開発等に関する検討会」構成員。
- ・ 著書に「生活保護は最低生活をどう構想したか——保護基準と実施要領の歴史分析」（ミネルヴァ書房、2011）、「生活保護と貧困対策—その可能性と未来を拓く」（共編著、有斐閣、2019）など多数。